



豊東小だより

令和3年9月30日 10月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

一人一人の心に寄り添って

校長 梅津 靖子

朝晩の涼しさに、秋が日増しに深まっているを感じることができます。9月の短縮午前授業が終了し、10月からは、通常の時程での学習活動が始まります。午前授業が長かったために、午後まで授業がある感覚を取り戻すまでには、少し時間がかかるかもしれません。来週末には、ミニ運動会も計画されていますので、練習の疲れも出ていることでしょう。夜は、いつもより少し早めに就寝するなどして体調を整えながら、通常の学校生活のリズムに戻れるようにしていきたいものです。

さて、緊急事態宣言が長く続く中、大人も子供も漠然とした不安等を感じながらの生活も継続しているように思います。学校では、毎日、子供たちの元気な声が聞こえてきますが、そのことに安心するのではなく、子供たち一人一人の心のケアには、丁寧に対応していかなければならないと感じています。友達の泣き声が聞こえてくると、そっと側に近づいて、心配そうに見守っている児童、登校の際に、お友達に「おはよう。」と声をかけ、「一緒に(教室に)行こう。」と寄り添っている児童がいます。学校で

共に生活する中で、児童は、友達や先生方との関わりを通して、多くの人に支えられているということに気付くことができることはすてきなことです。しかし、その関わりは、全てが良いことばかりではありませんから、気になることや悩んでしまうことも少なくありません。9月の全校朝会では、困ったことや悩んでいるときには、一人で悩まずに、大人に相談すること、また、学校には、担任だけでなく、保健室の先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員も相談できる大人であることも話しました。さらに、東京都より提供された資料を用いて、「心のアンケート」を全学級で実施しました。アンケートの結果を受けて、悩み等がある児童には、まずは担任から個別に声をかけて聞き取りをし、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員に相談することもできることを伝えました。悩みが大きくなってから相談するのではなく、少し気になることがあるといった時に、大人に声をかけることができるようにすることが大切だと考えています。学校全体で児童一人一人の心のケアができるように体制を整えていくこともできるようにしています。子供たちの表情や行動など、いつもと少し違うと感じたときには、迅速にかつ丁寧な対応ができるよう努めてまいります。ご家庭でも気になることがございましたら、心理専門のスクールカウンセラーをぜひ、ご利用ください。

10月1日以降は、緊急事態宣言が解除されることに伴い、教育活動の制限も緩和されます。10月9日のミニ運動会(第2部)も、保護者の方々にご観覧いただけることに安堵しています。学校生活の様子、子供たちの頑張る姿を、ようやく見ていただくことができます。子供たちは、表現運動を主とした練習に、連日励んでいます。学年全体が集まったの練習では、先生の話を中心して聞いています。そして、各学年の目指すところに向かって懸命に取り組む様子から、その意気込みが伝わってきます。当日は、感染予防対策を徹底してご観覧いただくこととなりますが、どうぞ楽しみにご来校ください。お待ちしております。

心のアンケート

2学期が始まってから今日までのことで、当てはまる方に、○をつけてください。

1 自分のことについて

- ① 学校のことや友達のこと、気になることや悩んでいることがある。
はい ・ いいえ
- ② 家族や家庭のこと、気になることや悩んでいることがある。
- ③ その他のこと、気になることや悩んでいることがある。
- ④ 学校にいきたいと思う。
- ⑤ 生きているのがつらいと思う。

2 周りの人のことについて

- ① 学校のことや友達のこと、気になることや悩んでいる人がいる。
- ② 家族や家庭のこと、気になることや悩んでいる人がいる。
- ③ その他のこと、気になることや悩んでいる人がいる。
- ④ 生きているのがつらいと言っている人がいる。

アンケートの結果を見て、先生から声をかけることもあります。

